

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

胆石胆嚢炎症例の周術期管理に関する検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月1日から2017年12月31日に当院で手術を受け、胆石症による胆嚢炎と診断された方

2. 研究目的・方法

急性胆嚢炎はプライマリケアで比較的高頻度に遭遇する病態で、原因の約90%が胆嚢結石です。日本人の胆石保有率は約10%とされ、日本内視鏡外科学会の第14回内視鏡外科手術に関するアンケート調査によると、胆石症に対し年間約32000件の腹腔鏡下胆嚢摘出術が施行されていますが、胆嚢炎は炎症の程度や手術時期により周術期合併症の頻度が異なり、周術期管理に関する検討・報告が現在でも多く見られます。本研究は当院で術後に胆石症による胆嚢炎と診断された症例を解析し、診断・治療について検討を行います。具体的には当院で2014年1月1日から2017年12月31日の期間に、術後の病理学的診断で胆石症による胆嚢炎と診断された症例を対象とします。本研究は学術研究であり、昭和大学病院を退院後の患者さんのデータを利用します。患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて「9.診療録等の調査項目」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。診療情報の利用に伴う同意取得の方法：院内掲示又はホームページによるオプトアウトを行っており、研究概要（研究目的・調査内容等）を適切に通知・公開します。また診療録情報の利用について拒否をすることも可能です。

研究期間

「昭和大学医学研究科人を対象にする研究等に関する倫理委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから2025年12月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2014年1月1日から2017年12月31日までに当院消化器一般外科において手術を施行し、術後病理組織診断で胆石症による胆嚢炎と診断された患者さんの診療録の中から、手術に関する情報（手術日、術前診断、術式）、患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬および臨床検査項目（血液、X線、CT検査）、臨床経過（追加治療、再発の有無、転機）を調査項目とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院外科学部門消化器一般外科学講座

氏名：箱崎 智樹

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8541

研究責任者：

所属：昭和大学病院外科学部門消化器一般外科学講座

氏名：箱崎 智樹